

やま

**美容、健康に
栄養満点!**

県内第1位の生産量を誇る「やまといも」は、コクがあり粘り強いのが特徴です。生ですりおろすと特有の粘りのある「とろろ」となります。良質のタンパク質とミネラルを豊富に含み、整腸作用があるため、生活習慣病の予防や美容に効果があるといわれています。



妻沼茶豆

**自然な
甘味とコク!**

「妻沼茶豆」は妻沼地域で古くから栽培し続けられてきた「在来大豆」で、ホクホクした食感となつかしい甘さが特徴です。最近では機械収穫に適した改良品種におされ、絶対的な生産量が少なく、市場に出回りにくい幻の大豆となっています。

そんな「妻沼茶豆」の魅力に心動かされた職人や料理人が「妻沼茶豆」を使った新たな商品やメニューを作り好評を得ています。



妻沼茶豆研究会の店

「妻沼茶豆」に魅せられた市内15店舗が「妻沼茶豆研究会」を立ち上げ、商品等を販売しています。「妻沼茶豆研究会」ののぼり旗が目印です。

くまがや農産物コーナー
市内の百貨店、スーパー等では、地場産コーナーを設置し、積極的に地元農産物を取り扱う店舗が多くなりました。ぜひご利用ください。

米

**新米の
美味しい季節!**

本市では主に「キヌヒカリ」と「彩のかがやき」が作られています。「キヌヒカリ」はその名の通り、炊き上がりの輝きが「絹」のように美しく、食味が良くソフトな粘りがあります。「彩のかがやき」は粘りが強く、軟らかく、さっぱり味ですが、ほのかな甘さを感じるお米です。



食べなきゃもったいない

今が旬な
本市自慢の
農産物

めぬまねぎ

**鍋料理に
かかせない逸品!**

妻沼地域で栽培される「めぬまねぎ」は、利根川が作り出した肥沃な大地の恵みにより白身が長く、身が締まり、甘味が強いのが特徴です。特に冬場のねぎは、赤城おろしがもたらす晴天により甘味がいっそう増し、これからの季節、鍋料理にはかかせない逸品です。



**地元農産物は、
ここで購入できます!**

JAくまがやのふれあいセンター(箱田店、久保島店、大里店、江南店、妻沼店)や地産市場かまくら。



うまいぞ! 熊谷

野菜だ! お米だ! まんぷくだ!

地元産だから新鮮で安心、そしてうまい!

市では、地域でとれた生産物を地域で消費する「地産地消」を推進しています。

地元でとれた農産物は新鮮です。新鮮だから美味しく、地元産だから生産者の顔が見え、安心して食べられます。農家の皆さんが丹精込めた旬の農産物をぜひ味わってください。◆農業振興課(妻沼庁舎) ☎048-588-9990

熊谷の農産物は安心・安全!

生産者は、安心・安全で美味しい農産物を生産するために様々な取組みを行っています。

残留農薬のポジティブリスト制度
農業は「農業取締法」により、厳しい登録制度がとられ、その使用基準が設定されています。また、ポジティブリスト制度では、原則全ての農薬等について残留基準を設定し、農薬等が基準を超えて残留する食品の販売を禁止しています。そのため、生産者は、農業生産工程管理を実践し、安心して安全な農産物を栽培しています。



農地の土壌診断
2015年は国際土壌年です。テーマは「元気な暮らしは元気な土から!」。
生産者は農地の土壌診断を行い、美味しい、元気な農産物ができるように、めぬま有機センターで作られた堆肥「めぬま堆肥くん」を散布するなど、土づくりに努力しています。

美味しい作物の秘密は土にあるんだにゃ!



熊谷市誕生10周年記念「第11回産業祭」

11月21日(土)・22日(日)10:00~15:00 熊谷スポーツ文化公園



photo:Flavio Gallozi

美味しいもの
たくさん
あるにゃ!



新鮮でおいしい旬の地元農産物や、地元農産物を使った料理の販売があります。また、市内農家の皆さんが丹精こめて作った農産物が勢ぞろいする農産物共進会もあります。ぜひ、皆さんお誘い合わせのうえお越しください。
内容 農産物共進会、農畜産物・商工業製品の展示・販売等
記念事業 東京農業大学応援団「大根踊り」、声楽家・オペラ歌手原田勇雅氏による特別コンサート
※詳しくは、チラシをご覧ください。



作家・森村誠一氏記念講演会

10月10日、文化センター文化会館で熊谷市誕生10周年を記念して森村誠一氏の記念講演会が開催されました。熊谷の思い出や戦争体験などの講演に参加者は熱心に耳を傾けていました。



ニャオざねに会いに来てくれてうれしいにゃ

10月11日、コミュニティひろばで第8回ニャオざねまつりが開催されました。イベントの開始と終了時には、ニャオざねまつりのテーマソングである「ニャオざねが行く」を流しながら、みんなで一緒に踊りました。



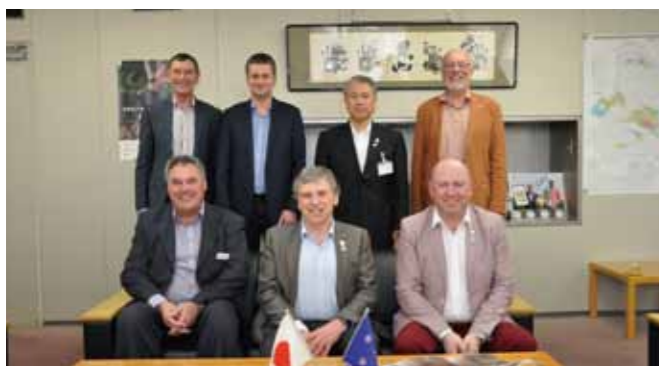
江戸時代の風景がよみがえりました

10月4日、松茸道中が開催され、江戸時代の衣装に身を包んだ一行が、太田市の大光院から妻沼聖天山まで松茸を運びました。妻沼聖天山に着いた参加者は、松茸のおにぎりとお吸い物をおいしそうに味わっていました。



みどりのカーテン・コンテスト表彰式

10月5日、みどりのカーテン・コンテストの表彰式が緑化センターで行われました。今年もみどりのカーテンを立派に育てた住宅、事業所、小中学校の入賞者が市長から表彰を受けました。



10周年オメデトウ!

新熊谷市誕生10周年記念式典に出席するため、姉妹都市であるニュージーランドのインパーカーギル市から訪問団が訪れました。インパーカーギル市はラグビーワールドカップ開催の実績があり、開催についての情報交換も行われました。



広がる交流の輪

姉妹都市インパーカーギル市にある、サウスランド・ボーイズ・ハイスクールとジェームズ・ハーゲスト・カレッジの生徒達が表敬訪問をしました。生徒達は、各提携校である熊谷高校、熊谷西高校に通い日本文化を学びました。

最優秀賞 顧宇さん



流暢な日本語を披露

9月27日、立正大学熊谷キャンパスで第23回外国人による日本語スピーチコンテストが開催されました。7カ国13人の外国人の方がスピーチし、日本の印象や日本人との心温まるエピソードなどを発表しました。



くまびあを満喫!

10月4日、熊谷市スポーツ文化村「くまびあ」にてくまびあ祭が開催されました。7人制女子ラグビーチーム「アルカス熊谷」の指導によるラグビー教室のほか、各種体験教室や登録団体による活動発表が行われ親子連れで賑わいました。



J1復帰めざし、熊谷で熱戦

9月20日、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場でJ2公式戦大宮アルディージャ対セレッソ大阪の試合が開催されました。試合には惜しくも敗れてしまいましたが、J1復帰に向け、大宮の順位は好位置を維持しています。

フォトニュース

2015.11
Photo News



SL熊谷市誕生10周年記念号が出発しま〜す

熊谷市誕生10周年記念として、SL機関車に熊谷市の記念ロゴマークがあしらわれました。9月26日には、秩父鉄道熊谷駅ホームで出発式が行われ、翌日の27日まで熊谷駅〜三峰口間を走行しました。



ラグビー日本代表の勝利に大興奮

9月19日、10月3日・12日にラグビーワールドカップの日本代表戦パブリックビューイングがくまがやドーム体育館や熊谷ラグビー場で開催されました。日本代表の歴史的な勝利に会場へ訪れたファンの歓声が沸き上がっていました。

おたよりパレット

テーマ

市内おすすめ紅葉スポット

さくらの名所の本市ですが、紅葉の美しいところも沢山あります。季節も冬に近づき、すっかり寒くなってきましたが、暖かくして出掛けてみてはいかがでしょうか?

おたよりパレットは、市ホームページ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>でも、更に詳しく紹介しています。

市報クイズ9月号で寄せられたご意見を紹介します。

- 熊谷大橋を渡りながら見る広瀬野鳥の森です。橋の上から風景を広くと見られるので毎年車で走りながら見るこの森がとても好きです。(30代・女性)
- 星溪園です。一歩足を入ると街中のにぎやかな音も消え、木々に癒されますよ。(40代・女性)
- 聖天山境内歓喜院山門前の紅葉は見事です。(90代・女性)
- さくらめいとどの山桜の紅葉がとってもすばらしく、夜ライトがついていると、また一段ときれいでしばらく見とれてしまいます。(70代・女性)
- 別府沼公園です。四季折々の変化が楽しめますが、紅葉もステキです。(60代・男性)
- 三ヶ尻観音山。時間がある時、四季折々に散歩がてら行きます。まわりの桜の木も紅葉してみごことです。(70代・男性)

読んで当てよう 市報クイズ

今月のテーマ、「お正月の過ごし方」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「お正月の過ごし方」のコメントを必ず記入し、11月25日(水)までにご応募ください(一人につき一通)。
※コメントがないものは無効となります。
《応募先》〒360-8601
宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課
☒ kohokocho@city.kumagaya.lg.jp
※当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもってかえさせていただきます。

今月の問題
次の□に入ることばを、それぞれお答えください。
①11月は「□」防止啓発月間」です
②熊谷市誕生10周年記念「第□」回産業祭

今月の正解
①長寿 ②動物愛護
◆応募総数62通中、正解60通

「イタリアンカフェ ヴィオラ」ご提供のバスタランチ5品目の中からおひとつを正解者の中から抽選で10名に提供します。
所在地:熊谷市玉井南3-12
電話:048-532-7030
写真はイメージです

市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。詳しくは、広報広聴課内線212までお問合せください。

夢追人

愛染堂PR大使就任！

「愛染堂の魅力を伝えたい」

愛染堂PR大使・声楽家
土田 彩花さん(上之)



この度、愛染堂PR大使を務めさせていただくことになりました。愛染堂(下川上)は、江戸時代中期の建造物で、本尊の愛染明王像は市の文化財に指定されています。「藍染」と「愛染」の関係から、熊谷周辺の染物業者を中心に信仰されています。現在は老朽化という深刻な問題を抱えており、保存修復事業への募金活動を行っています。

伝統文化の普及活動に力を入れてきました。そのときの経験や学んだ知識を活動に役に立てていきたいと思っています。早速、本年7月のうちわ祭にて、募金活動を行いました。皆さまに少しでも愛染堂のことを知っていただけたかと思うと非常に嬉しかったです。PR大使として愛染堂の保存修理事業はもちろんのこと、今後も、地域の皆さまと一緒に熊谷の持つ文化財・絹産業の魅力を幅広くお伝えしていきたいと思っています。

「音楽の力」を伝えたい

物心ついた頃から音楽に親しんでおり、現在は「声楽家」としても活動しています。熊谷市出身の原田勇雅先生の指導を受けるなど勉強を続け、コンサートやオペラの舞台に立ち、活動の幅を広げています。また本年9月に、合唱曲「ふるさとによせる歌」の指導で、市内の小・中学校を訪問させていただきました。

この曲は、熊谷市誕生10周年記念式典で披露されました。生まれ育った街で、音楽が持つ「人々をつなげる輪の力」を



東京きもの女王コンテスト2015で歌声を披露する土田さん

発信できたことは、非常に感慨深いことでした。11月21日からは、東京・日比谷の日生劇場にて行われるヨハン・シュトラウス作曲、オペレッタ「ウィーン気質」に出演いたします。

地元「愛」

地元熊谷に、愛染堂のような由緒ある文化財があることを誇りに思っています。是非、一人でも多くの方々に興味を持っていただき、建立から約300年間の歴史を伝えてきた愛染堂の魅力を感じ取っていただけると幸いです。

ニャおざねゆる散歩

第8回 江南総合公園 (愛称:小原運動公園)

ニャおざねが市内の公園を紹介します！

江南総合公園は、スポーツ施設を中心とした公園で、平成16年度の国民体育大会の馬術会場跡地を活用整備しました。また、平成25年度に市民から愛称を募集し、「小原(おはら)運動公園」と呼ばれるようになりました。園内には両翼が100mある「野球場」をはじめ、サッカーやグラウンドゴルフなどに利用できる「多目的広場」、複合遊具などがある「遊具広場」、広大な「芝生広場」があります。自然に囲まれた開放的な公園は、本格的なスポーツだけでなく、ファミリーでの利用に最適な公園です。

所在地: 板井377番地 面積: 11.4ha
 施設: 野球場(硬式・軟式兼用)、多目的広場、遊具広場、芝生広場、トイレ
 遊具: 複合遊具、ふわふわドーム、すべり台、スプリング遊具、健康遊具 ほか
 その他: 駐車場 約200台、災害時の広域避難所

◆公園緑地課(大里庁舎) ☎0493-39-4806

野球場が広いにゃ〜

めざせ最多勝投手にゃ〜

人口と世帯 平成27年10月1日現在(対前月比) ■人口 200,745人(+49) 男 100,153人(+51) 女 100,592人(-2) ■世帯 84,247(+166)

発行日 平成27年11月1日 ●発行 熊谷市
編集 広報広聴課 〒360-8601 熊谷市宮町二丁目47番地1
☎0485241111(内線206) FAX0485202870

「市報くまがや」は、毎月1日(原則)に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧いただけます。(URL) <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>